



T S U N A G U

小から中への滑らかな接続にむけて

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

令和7年1月8日

我孫子市小中一貫教育だより

第366号



我孫子市マスコットキャラクター
「手製沼のうなぎさん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にしている子ども



布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

Abi-小中一貫教育 共有授業実践の様子を紹介するうな～！

Abi-キャリア「車椅子体験」

根戸小学校の3年生が総合的な学習の時間に Abi-キャリア「車椅子体験」の学習を行いました。今日は、我孫子市北地区社会福祉協議会の遠藤さんと藤田さんから車椅子の利用者、介助者それぞれの視点から車椅子に乗るときのポイントを教えてもらいます。



初めに自走式と介助式2種類の車椅子の特徴を教えてもらいました。次に、体験コースを歩きながら、車いすを操作するときのポイントと乗るときの注意点を教えてもらい、いよいよ体験がスタートです。

コースには、段差やぬかるんだ道、狭い道などを想定した障害物が設定されています。体験前は、「簡単だよ。」と言っていた子ども達でしたが、実際に体験が始まると想像とは全く異なっていたことに気がきました。普段の自分達にとっては小さな段差でも、車椅子の人にとっては大きな障害や恐怖になること、介助者の言葉掛けが利用者の安心につながることなどを体験しました。



自分と同じくらいの大さの車椅子を操作するのは大変そうでしたが、体験しないと分からない、体験したからこそ得られた学びがあったことに子ども達自身が気づき、視野を拡げた授業でした。

Abi-ふるさと「田口 静」

新木小学校の6年生の道徳の学習で Abi-ふるさと「田口 静」の授業が展開されました。今日の授業では、田口静の医師としての働きと生き方について理解することをねらいとしています。



まずは、『ふるさと我孫子の先人たち』を読み、田口静がどんな人物だったのかを理解しました。静が、湖北村新木に生まれたということを知り、一気に親近感が湧いているようでした。テキストを読んだ後は、自分が感じたことを班の友達と伝え合い、理解を深めていきます。

子ども達が特に興味を持ったのは、日中戦争に軍医として赴いた戦場で重傷を負い、野戦病院で手術を受け帰国した後の生き方でした。朝早くから夜遅くまで時間を問わずに診察をしたことや生活に困る患者には無料で治療をしたこと、子ども達への優しい言葉掛けなど温情溢れる生き方に触れ、田口静の存在をより大きく感じていました。



利益ではなく、地域のため、人のために努力し、生き続けたのはなぜか。愛を感じる田口静の生き方にさらに興味を深め、自分の生き方をみつめる授業となりました。